

令和7年

宮城県 海難発生状況

(確定値)

宮城海上保安部

令和8年5月

目次

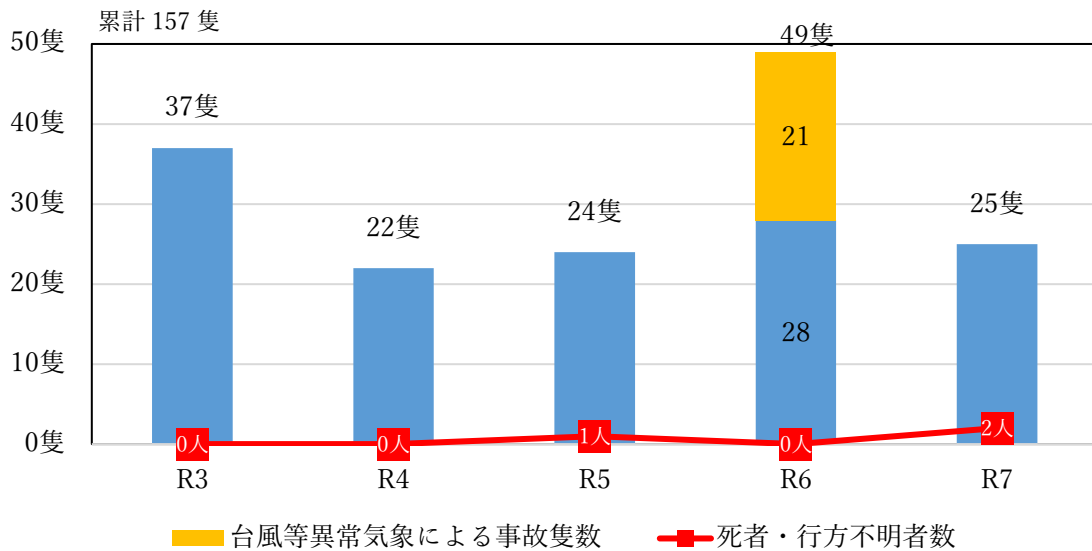
1 船舶事故の特徴	P1
(1) 船舶事故(全体)	P1
(2) 漁船	P3
(3) プレジャーボート	P5
① 水上オートバイ	P8
② ミニボート	P8
(4) 工事関係船(作業船・その他)	P9
2 人身事故の特徴	P11
(1) 人身事故(全体)	P11
(2) 船舶事故によらない人身事故	P12
① 漁船	P14
② プレジャーボート	P18
③ 工事関係船(作業船・その他)	P20
(3) マリンレジャーに伴う海浜事故	P22
① 釣り中	P24
② 遊泳中	P27
③ 18歳以下のマリンレジャーに伴う海浜事故	P30
(4) マリンレジャー以外の海浜事故	P31
3 事故発生時における救命胴衣の着用率	P33
(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率	P33
(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率	P33
(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率	P33

1 船舶事故の特徴

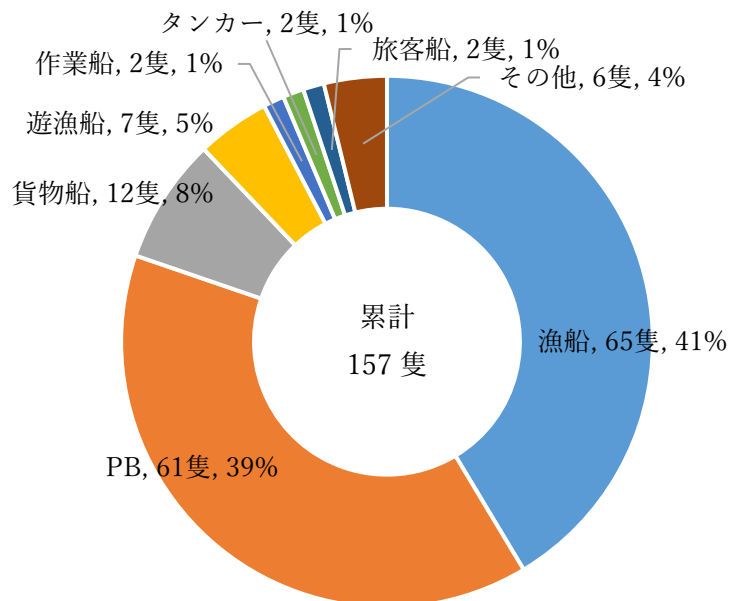
(1) 船舶事故（全体）

- ✓ 令和7年は前年に比べ大幅に減少し、25隻となった。
- ✓ 昨年は台風等異常気象による事故が発生しておらず、全体の件数は例年と比較しても概ね横ばいである。
- ✓ 船舶種類別にみると、漁船によるものが最も多く全体の41%（65隻／157隻）を占め、次いでプレジャーボートが39%（61隻）を占める。（5年間累計）

〔船舶事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



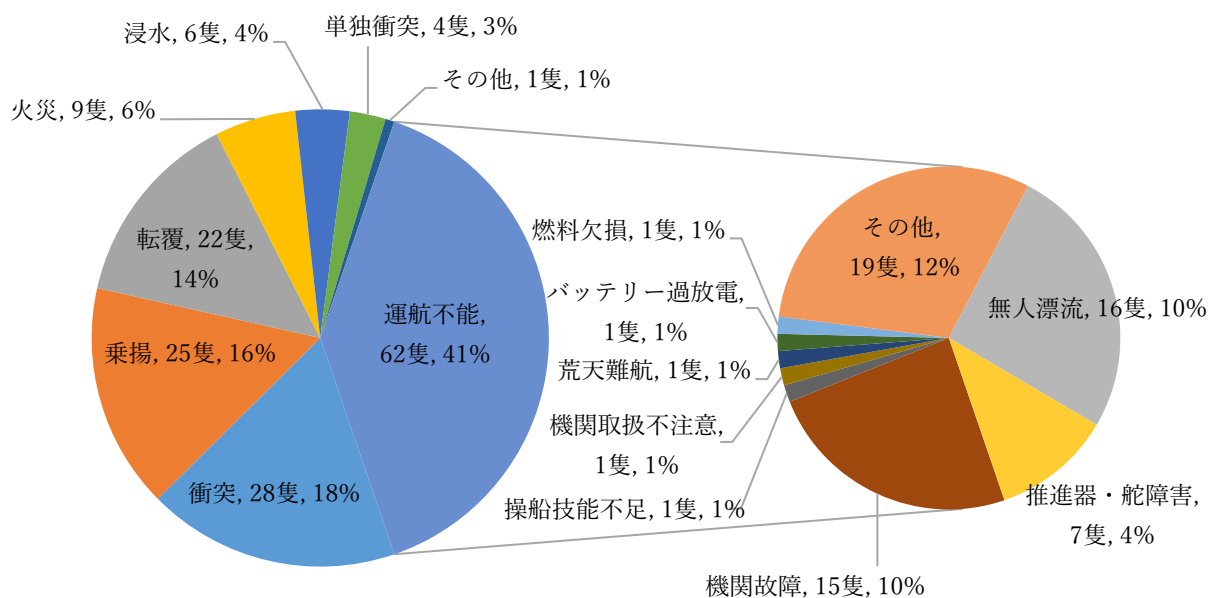
〔船舶種類別の割合（5年間累計）〕



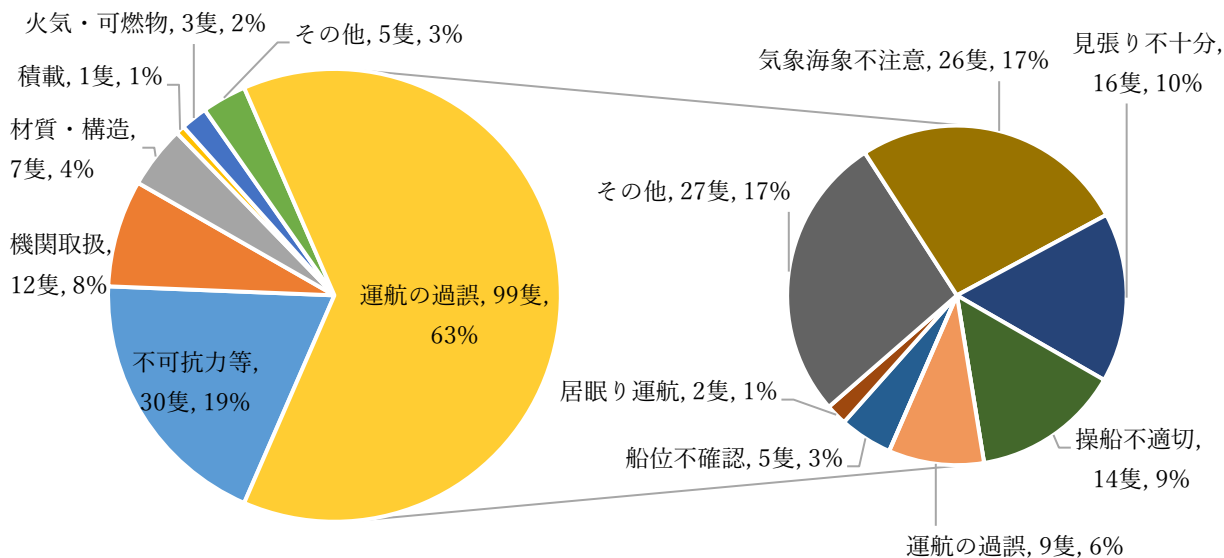
〔船舶種類別の事故発生状況の推移（5年間）〕

	R3	R4	R5	R6	R7	計
漁船	10隻	9隻	10隻	28隻	8隻	65隻
PB	14隻	9隻	12隻	18隻	8隻	61隻
貨物船	7隻	1隻	1隻		3隻	12隻
遊漁船		2隻		2隻	3隻	7隻
作業船	1隻	1隻				2隻
タンカー	2隻					2隻
旅客船	1隻			1隻		2隻
その他	2隻		1隻		3隻	6隻
計	37隻	22隻	24隻	49隻	25隻	157隻

〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



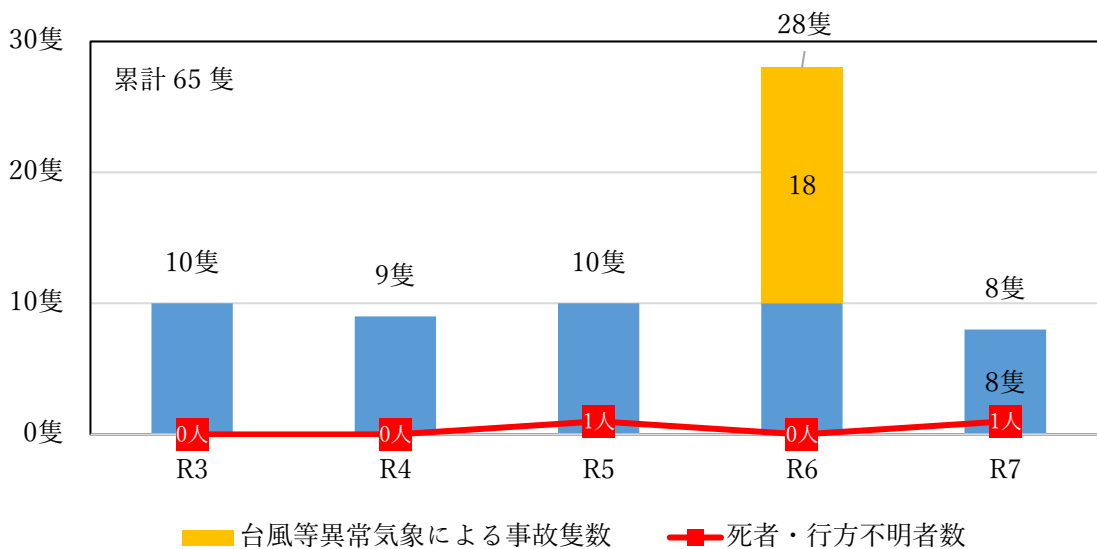
〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



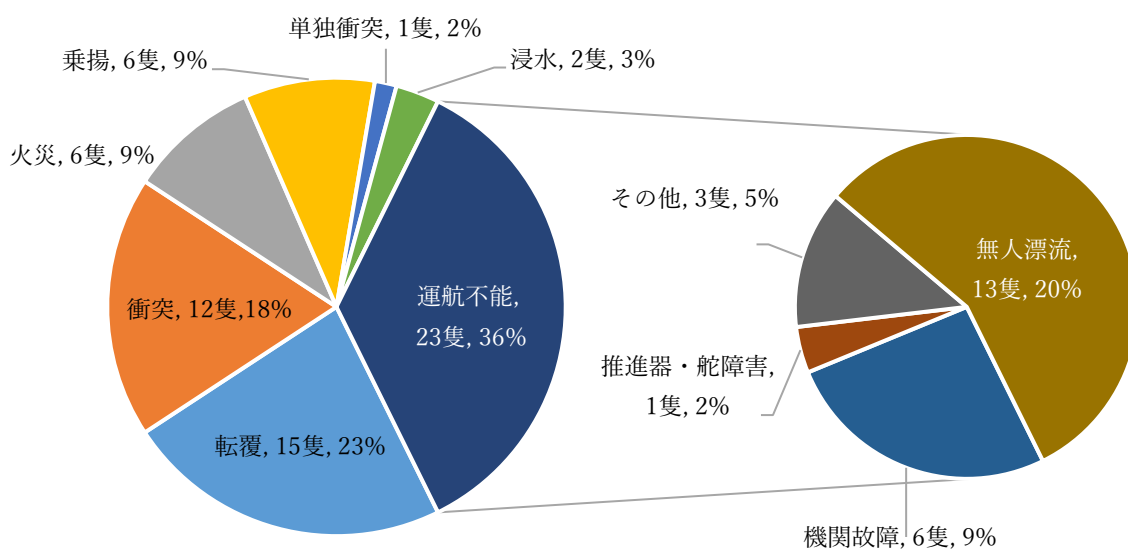
(2) 漁船

- ✓ 令和7年は前年に比べ大幅に減少し、8隻となった。
- ✓ 令和6年は、本州南岸を通過した発達した低気圧の影響により事故が多発したものの、令和7年については、同種事故は発生せず、例年と比較し、横ばいとなっている。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能が最も多く、全体の36%（23隻／65隻）を占め、次いで転覆が23%（15隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、冬季（12月～2月）に34隻と多く発生し、特に1月に多く発生する傾向にあるが、年間を通じて発生している。（5年間累計）

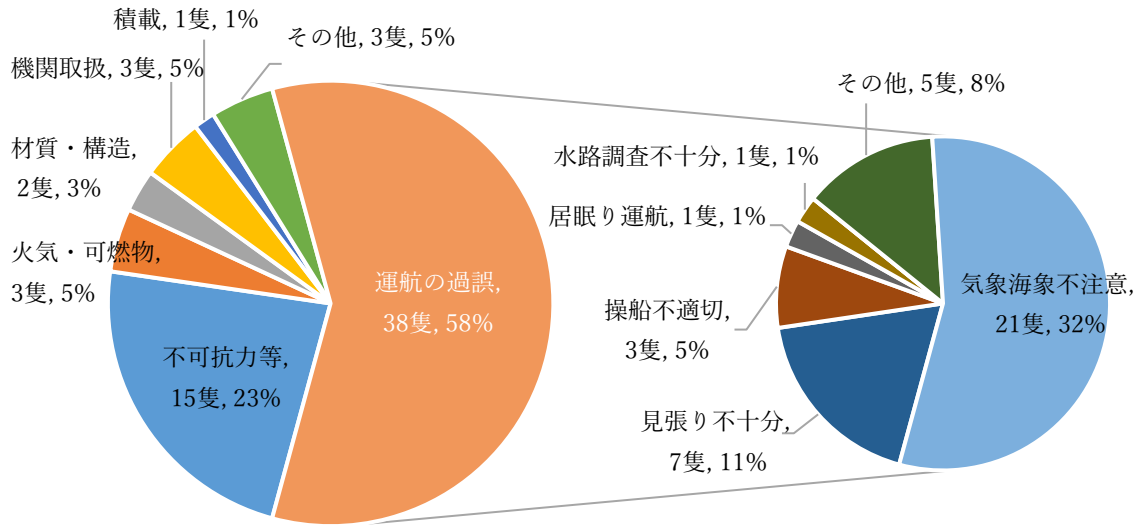
〔漁船事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



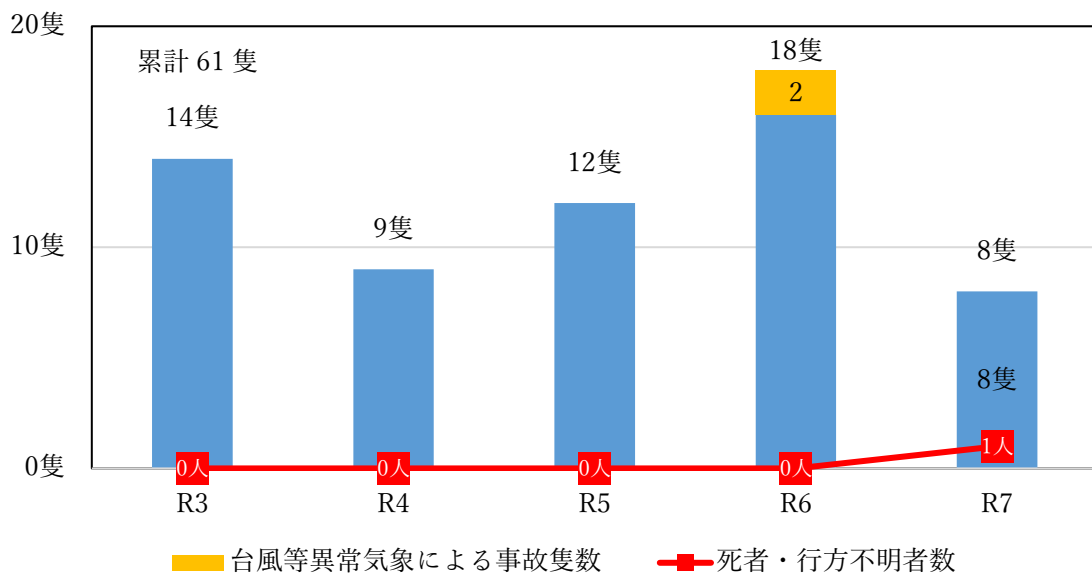
〔漁船事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
航行不能	7隻	5隻	2隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	1隻	2隻	5隻	0隻	23隻
(無人漂流)	6隻	4隻	1隻							2隻			13隻
機関故障	1隻	1隻					1隻		1隻	1隻	1隻		6隻
推進器・舵障害										1隻			1隻
その他			1隻								2隻		3隻
転覆	6隻	4隻		1隻	1隻		1隻			2隻			15隻
衝突	5隻									1隻	4隻	2隻	12隻
単独衝突						1隻							1隻
火災			1隻	1隻			1隻	2隻		1隻			6隻
乗揚		1隻		1隻			1隻	1隻				2隻	6隻
浸水												2隻	2隻
計(月)	18隻	10隻	3隻	3隻	1隻	1隻	4隻	3隻	1隻	6隻	9隻	6隻	65隻
計(季節)	34隻		7隻			8隻			16隻				65隻

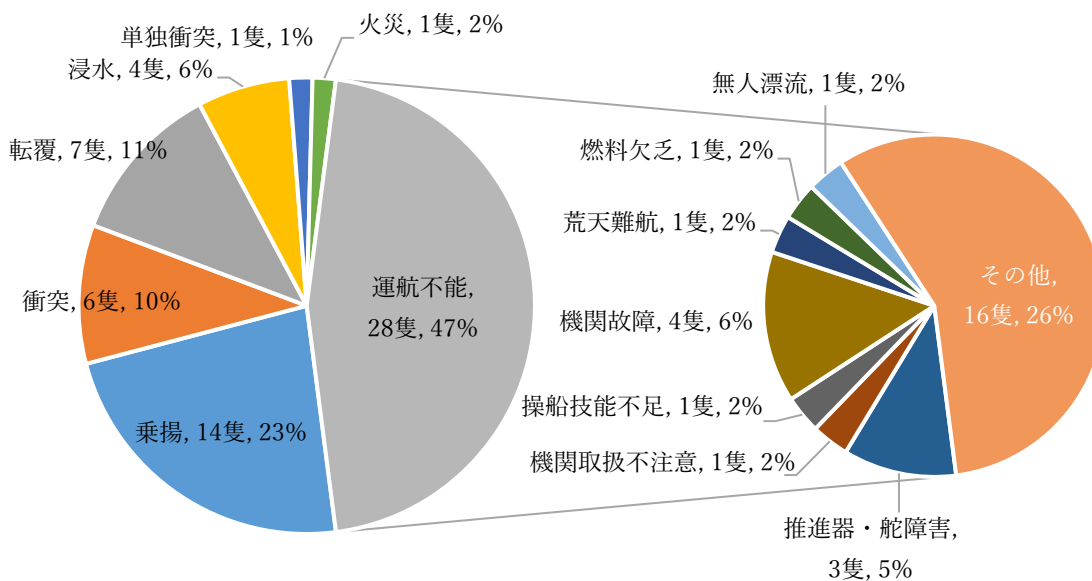
(3) プレジャーボート

- ✓ 令和7年は前年比10隻減の8隻と減少。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能が最も多く全体の47%（28隻/61隻）を占め、次いで乗揚が23%（14隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しているが、特に夏季（6月～8月）が20隻と最も多い。（5年間累計）
- ✓ 水上オートバイ及びミニボートの事故は、発生しなかった。

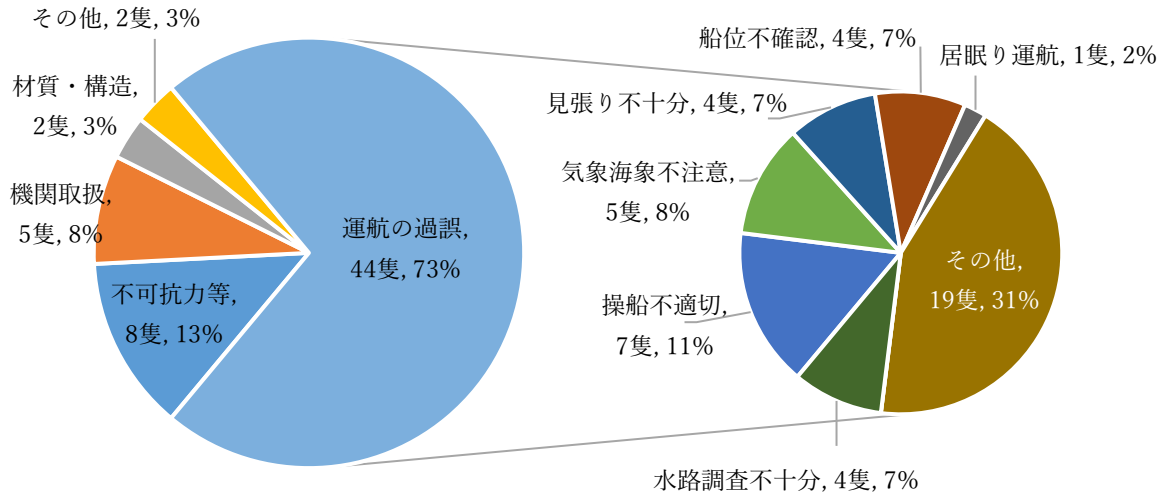
〔PB事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔PB事故種類別の割合（5年間累計）〕



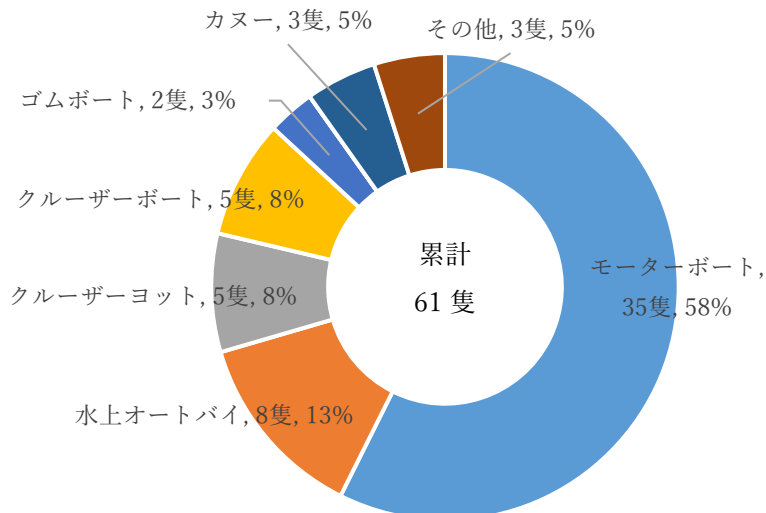
〔PB 事故原因別の割合（5年間累計）〕



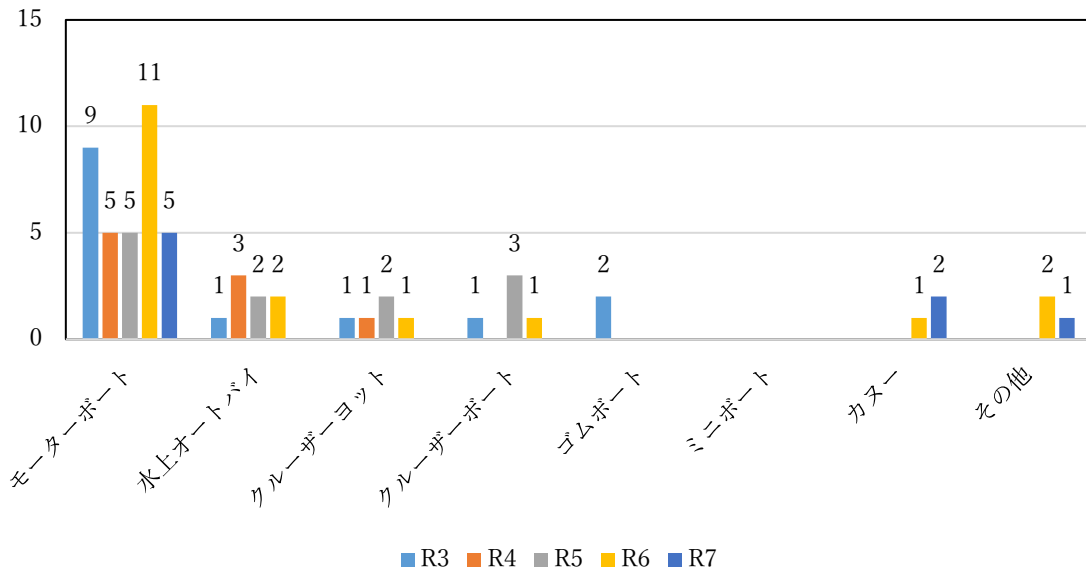
〔PB 事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	3隻	2隻	3隻	2隻	2隻	1隻	1隻	6隻	1隻	3隻	2隻	2隻	28隻
推進器・舵障害				1隻				1隻				1隻	3隻
機関取扱不注意			1隻								1隻		1隻
操船技能不足													1隻
機関故障	2隻	1隻		1隻									4隻
燃料欠乏												1隻	1隻
荒天離航			1隻										1隻
無人漂流	1隻												1隻
その他		1隻	1隻		2隻	1隻	1隻	5隻	1隻	3隻	1隻		16隻
乗揚	1隻		4隻	2隻		2隻	1隻		2隻		2隻		14隻
衝突				2隻		2隻	2隻						6隻
転覆		1隻		1隻			1隻			2隻	2隻		7隻
浸水	1隻					1隻	1隻			1隻			4隻
単独衝突						1隻							1隻
火災								1隻					1隻
計(月)	5隻	3隻	7隻	7隻	2隻	7隻	6隻	7隻	3隻	6隻	6隻	2隻	61隻
計(季節)	10隻		16隻			20隻			15隻				61隻

〔PB 種類別の割合（5年間累計）〕



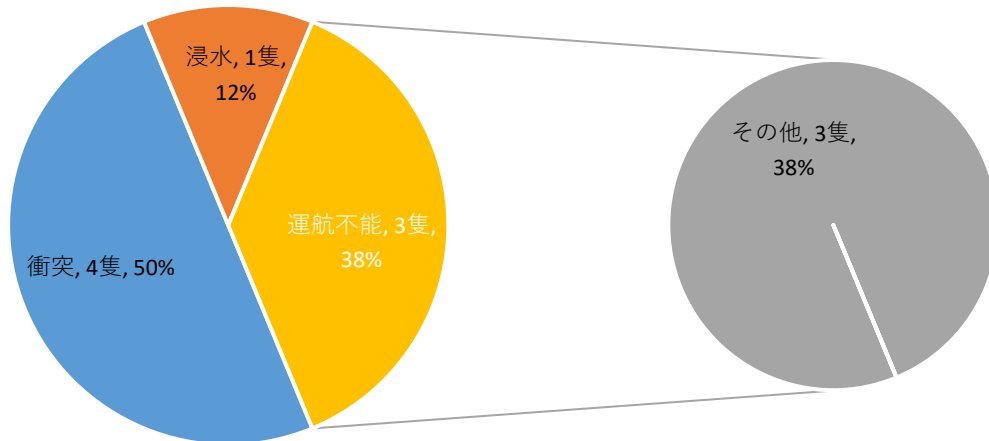
〔PB 種類別の事故発生状況の推移と割合（5年間累計）〕



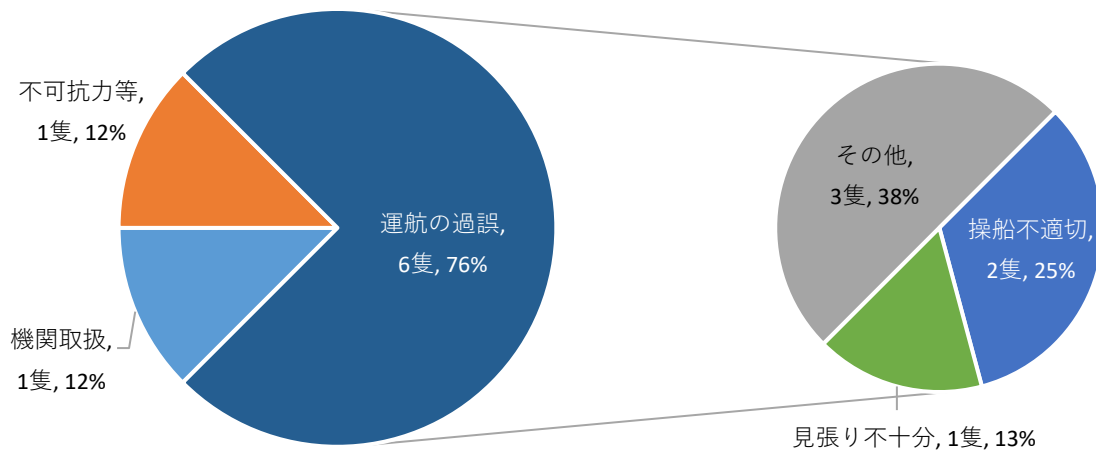
① 水上オートバイ

- ✓ 発生時期は夏季（6月から8月）、特に7月に多発する傾向にある。
（5年間累計）

〔PWC 事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔PWC 事故原因別の割合（5年間累計）〕



〔PWC 事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
運航不能	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	0隻	0隻	2隻	0隻	0隻	0隻	0隻	3隻
〔その他〕					1隻			2隻					3隻
衝突						2隻	2隻						4隻
浸水							1隻						1隻
計（月）	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	2隻	3隻	2隻	0隻	0隻	0隻	0隻	8隻
計（季節）	0隻		1隻			7隻			0隻				8隻

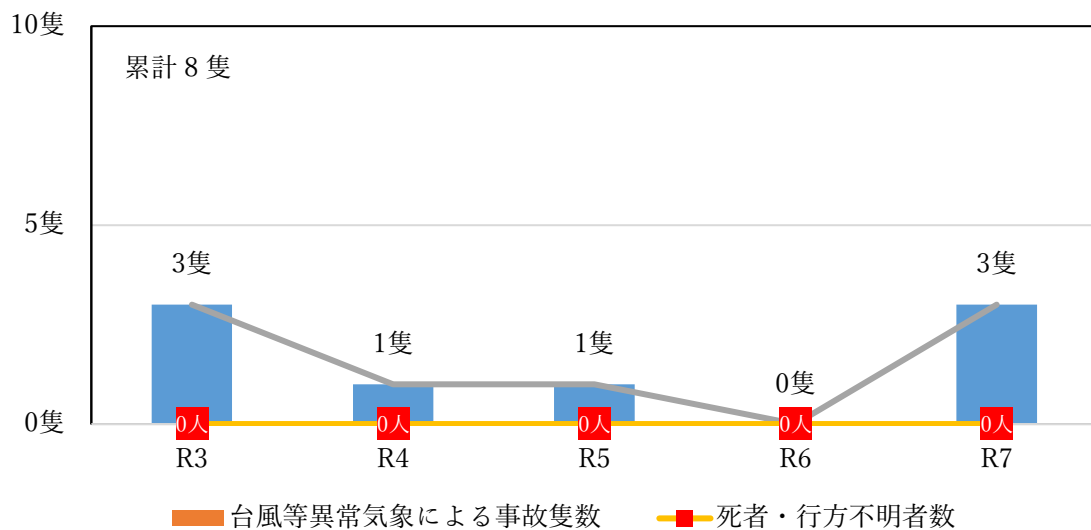
② ミニボート

- ✓ 令和7年を含む過去5年間で事故は発生していない。

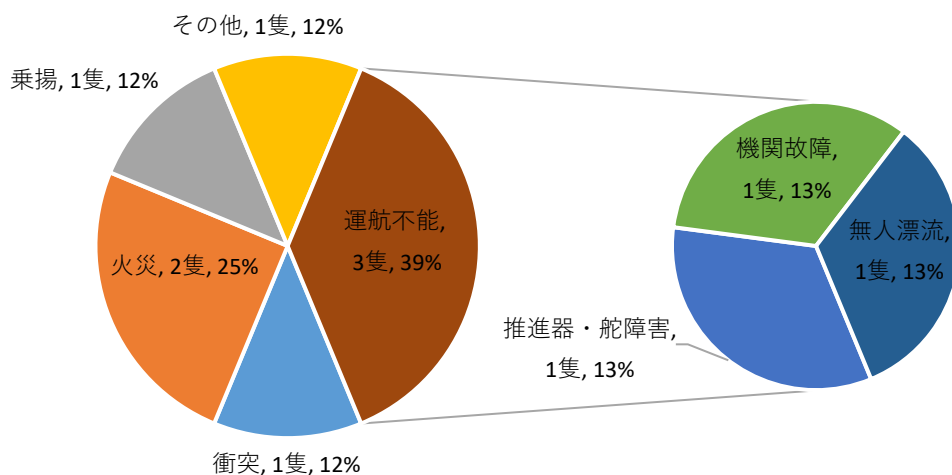
(4) 工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 令和6年は事故の発生がなかったが、令和7年は3隻増加。
- ✓ 事故種類別にみると、運航不能によるものが最も多く、全体の39%（3隻／8隻）を占め、次いで火災が25%（2隻）、衝突、乗揚及びその他がそれぞれ12%（1隻）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、秋季（9月～11月）に多く発生している。（5年間累計）

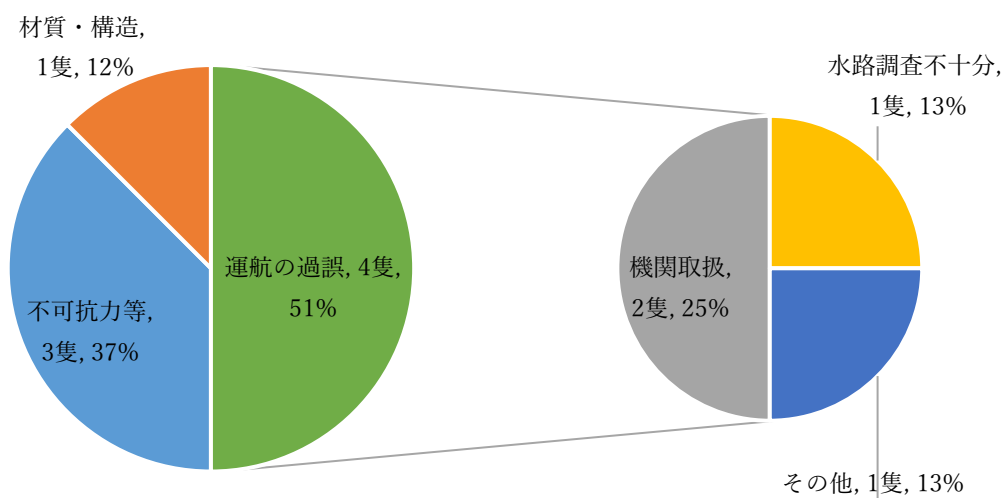
〔工事関係船事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



〔工事関係船の事故種類別割合（5年間累計）〕



〔工事関係船の事故原因別割合（5年間累計）〕



〔工事関係船事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

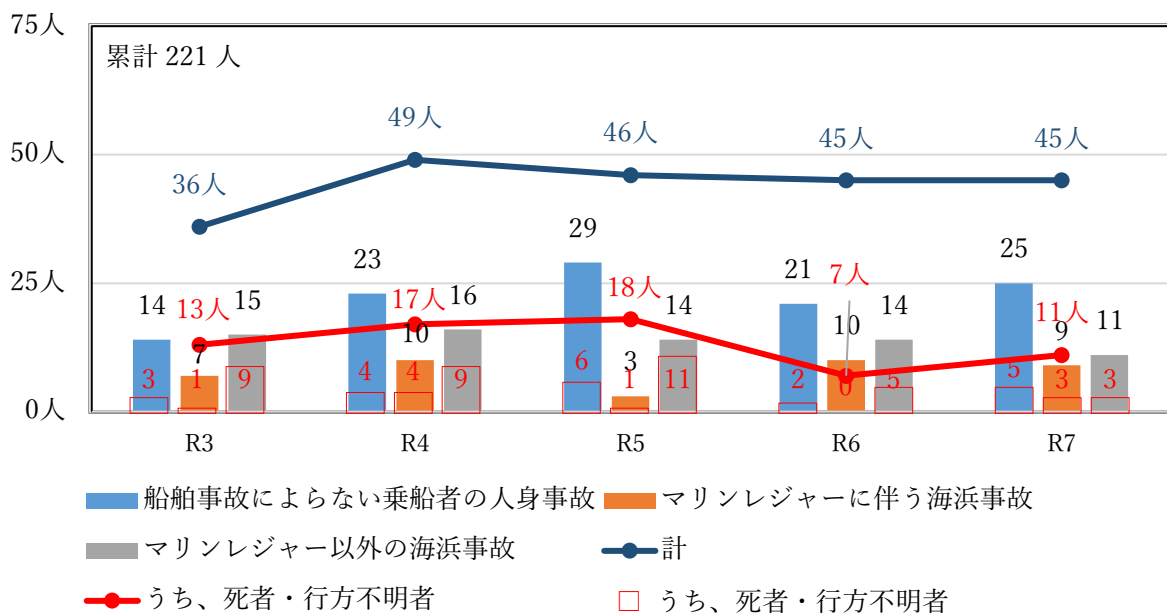
	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
運航不能	1隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	0隻	1隻	1隻	0隻	0隻	3隻
(無人漂流									1隻				1隻
機関故障	1隻												1隻
推進器・舵障害										1隻			1隻
衝突				1隻									1隻
乗揚		1隻											1隻
火災				1隻					1隻				2隻
その他									1隻				1隻
計 (月)	1隻	1隻	0隻	2隻	0隻	0隻	0隻	0隻	3隻	1隻	0隻	0隻	8隻
計 (季節)	2隻		2隻			0隻			4隻				8隻

2 人身事故の特徴

(1) 人身事故（全体）

- ✓ 令和7年は前年と変わらず45人と横ばいになった。
- ✓ 死者・行方不明者は前年から4人増の11人となった。
- ✓ 船舶事故によらない乗船者の人身事故が前年比4人増の25人と増加した。
- ✓ マリンレジャーに伴う海浜事故は、前年比2人増の11人と増加した。

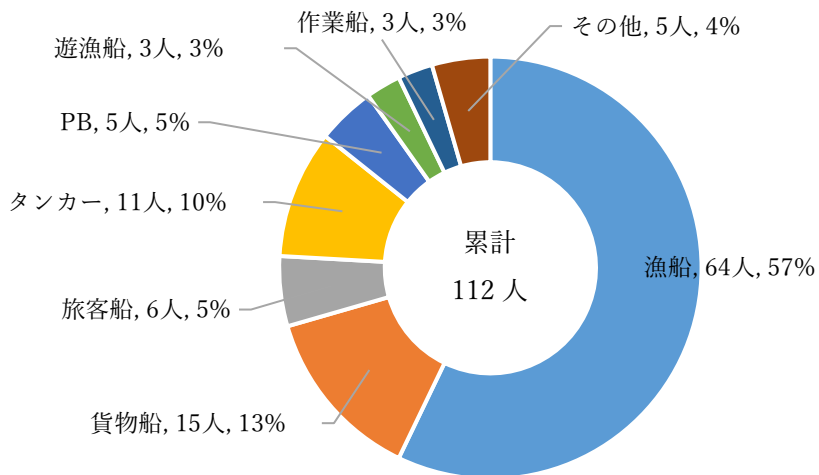
〔人身事故の発生状況と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



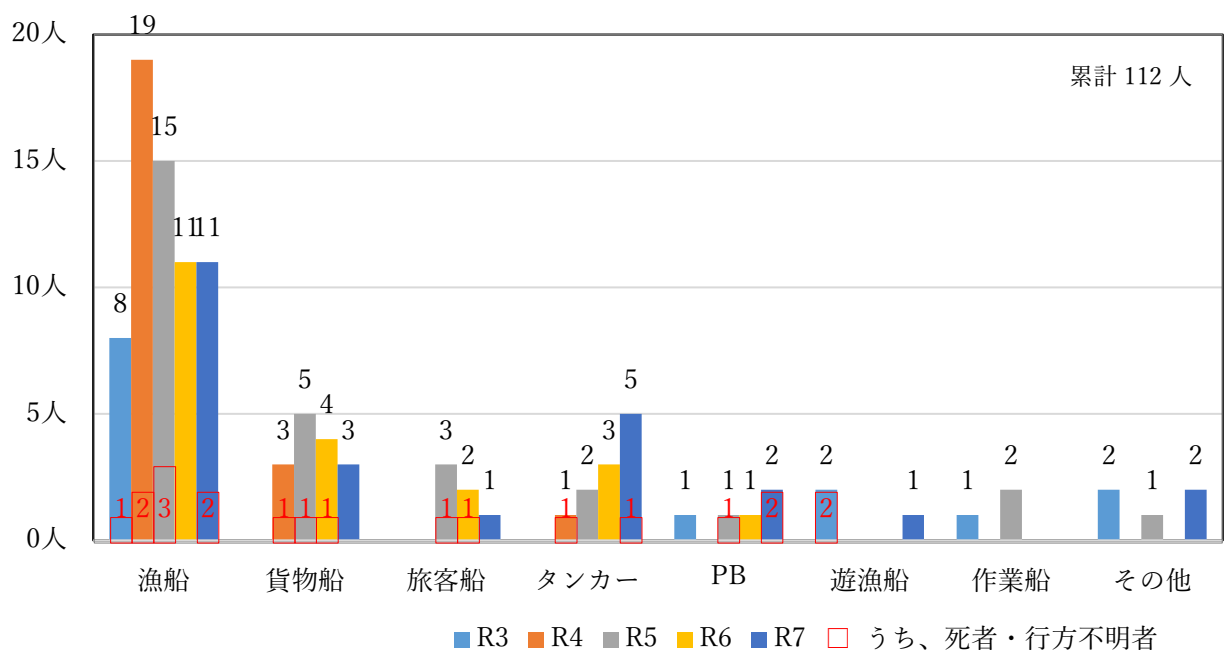
(2) 船舶事故によらない乗船者の人身事故

- ✓ 漁船乗船者の人身事故は、前年と変わらず 11 人と横ばいになった。
- ✓ 乗船船種別にみると、漁船乗船者の事故が突出して多く、全体の 57% (64 人/112 人) を占め、次いで貨物船が 13% (15 人) と続く。(5 年間累計)

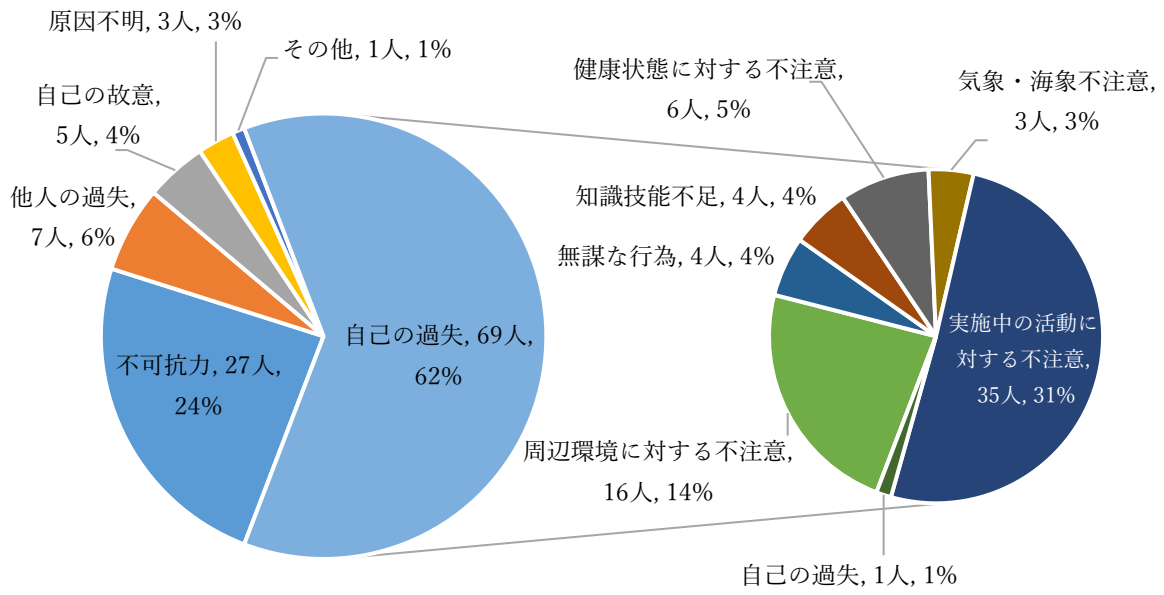
〔乗船船種別の割合 (5 年間累計) 〕



〔乗船船種別と死者・行方不明者の推移 (5 年間) 〕



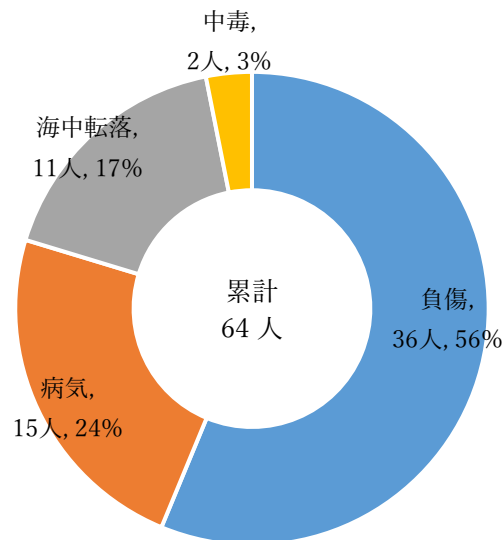
〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



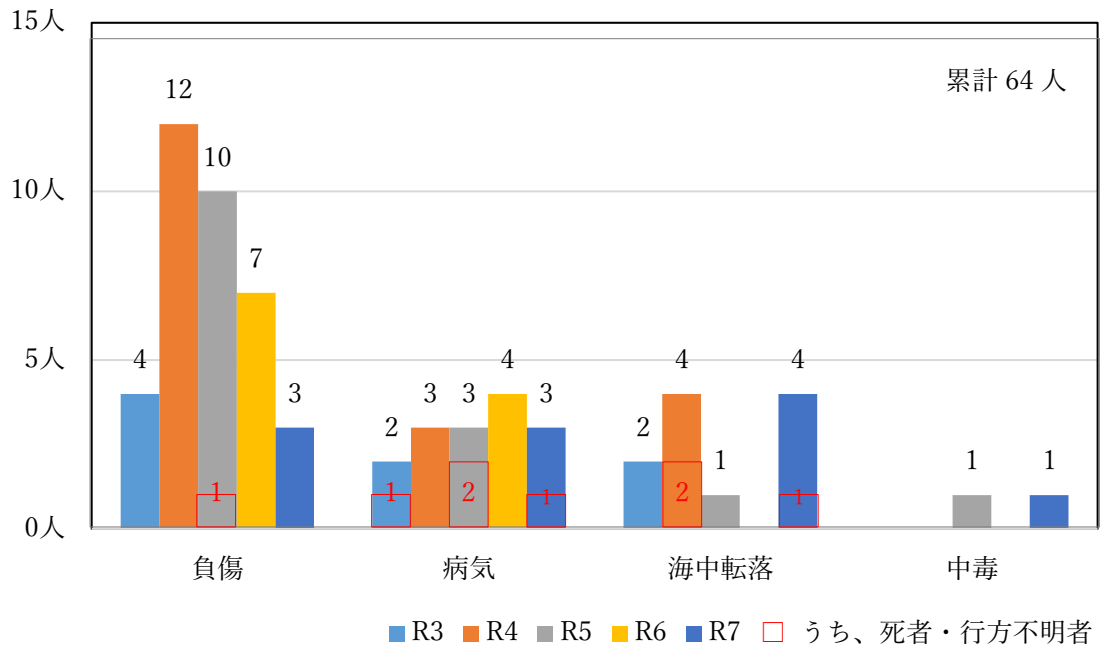
① 漁 船

- ✓ 事故種類別にみると、負傷によるものが最も多く、全体の56%（36人／64人）を占め、次いで病気によるものが23%（15人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 令和7年は負傷による人身事故が前年比4人減の3人と減少した。
- ✓ 漁船乗船者の事故原因は、全体の76%（49人）が自己の過失によるものであり、そのうち45%（29人）が実施中の活動に対する不注意によるものであった。（5年間累計）
- ✓ 負傷事故を種類別に見ると、巻き込まれによるものが最も多く、全体の33%（12人/36人）を占め、次いでロープの破断等による物との接触・衝突による事故が22%（8人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は、年間を通じて発生しているが、秋季（9月～11月）に、特に11月に多発している。（5年間累計）

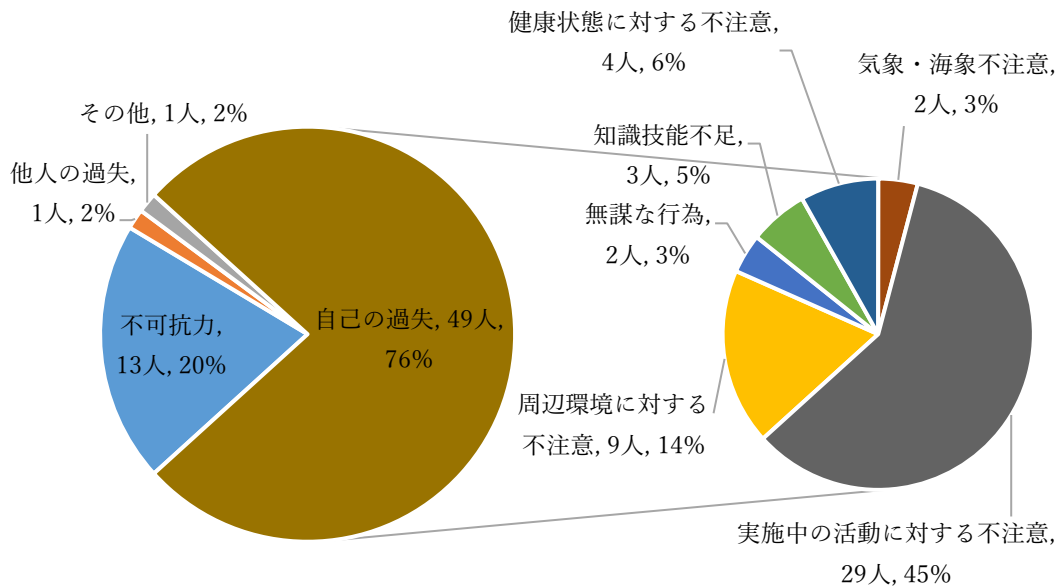
〔漁船乗船者の人身事故の種類別の割合（5年間累計）〕



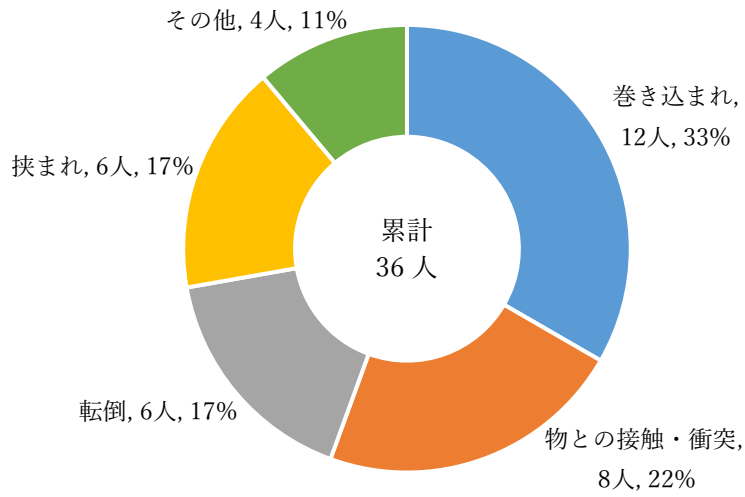
〔漁船乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



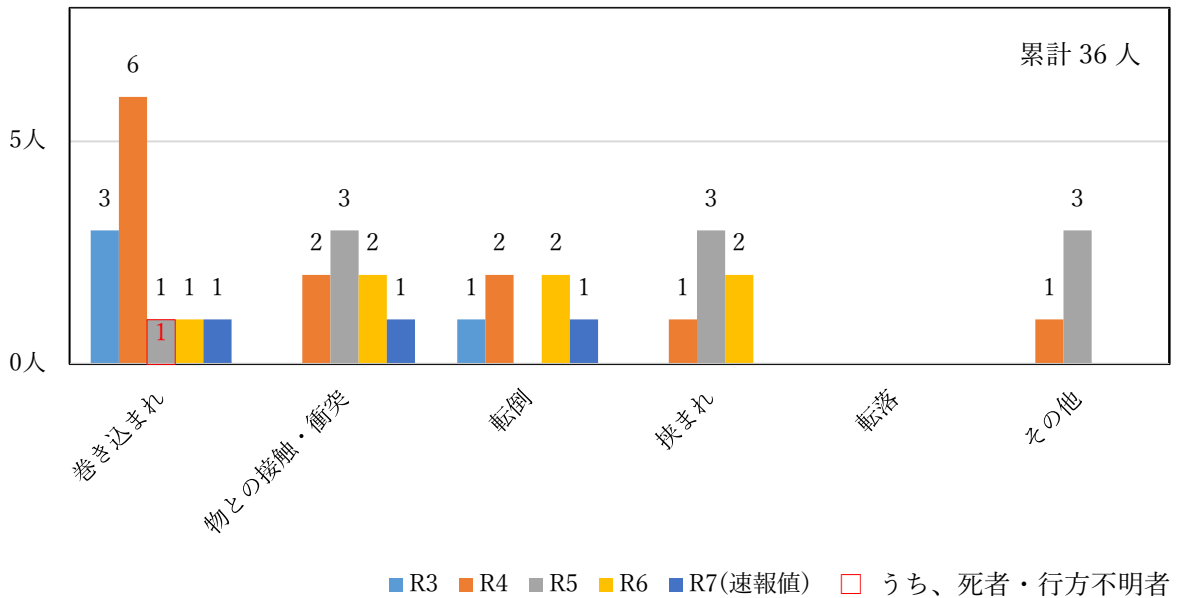
〔漁船乗船者の人身事故の原因別割合（5年間累計）〕



〔漁船乗船者の負傷事故の種類別割合（5年間累計）〕



〔負傷事故の種類と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



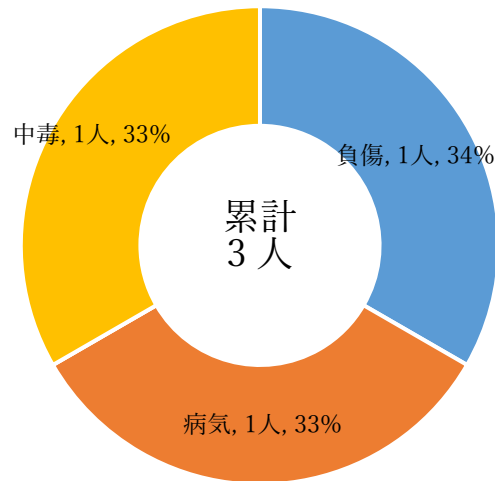
〔漁船による人身事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷	1人	5人	1人	2人	4人	5人	1人	1人	4人	3人	5人	4人	36人
うち、死者・行方不明者		1人											1人
病気			1人	3人	1人			1人	3人	1人	4人	1人	15人
うち、死者・行方不明者					1人				1人		1人	1人	4人
海中転落	3人			1人			2人		2人		2人	1人	11人
うち、死者・行方不明者	1人								2人				3人
中毒			1人								1人		2人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	4人	5人	3人	6人	5人	5人	3人	2人	9人	4人	12人	6人	64人
うち、死者・行方不明者	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	3人	0人	1人	1人	8人
計（季節）	15人		14人			10人			25人				64人
うち、死者・行方不明者	3人		1人			0人			4人				8人

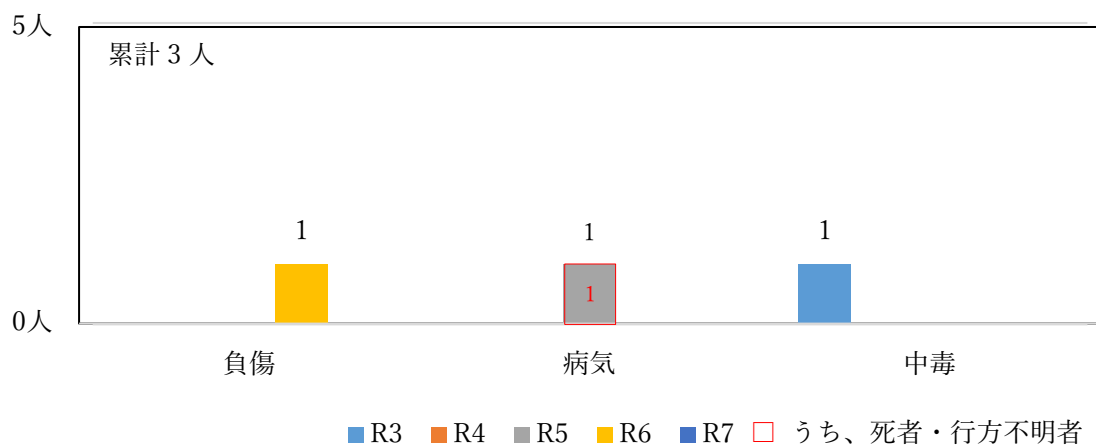
② プレジャーボート

- ✓ 事故種類別にみると、負傷、病気及び中毒が1人ずつである。(5年間累計)
- ✓ 発生時期は、夏季から秋季に多く発生する傾向にある。(5年間累計)

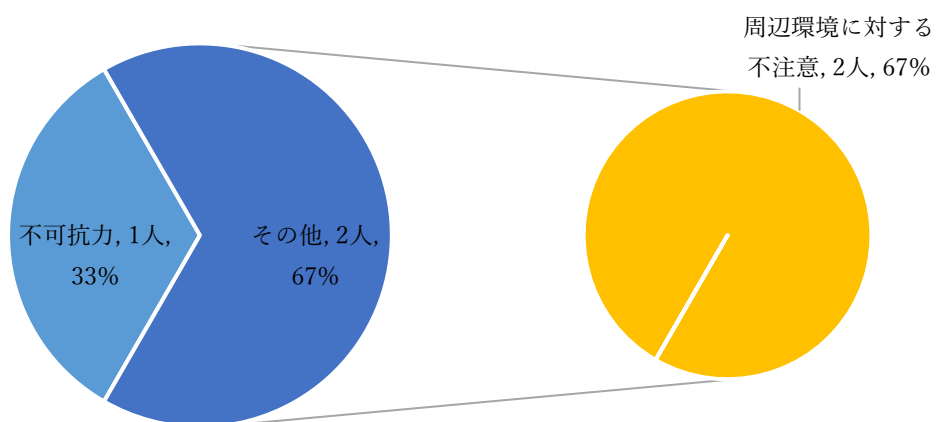
〔PB乗船者の人身事故の種類別割合(5年間累計)〕



〔PB乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移(5年間)〕



〔PB 乗船者の人身事故の原因別割合（5年間累計）〕



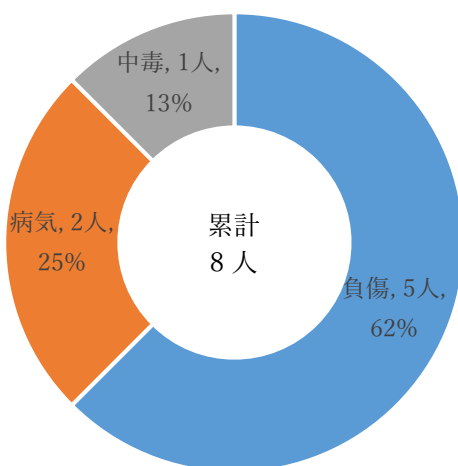
〔プレジャーボートによる人身事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷						1人							1人
うち、死者・行方不明者													0人
病気										1人			1人
うち、死者・行方不明者										1人			1人
海中転落													0人
うち、死者・行方不明者													0人
中毒							1人						1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	3人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人
計（季節）	0人		0人			2人			1人				3人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			0人			1人				1人

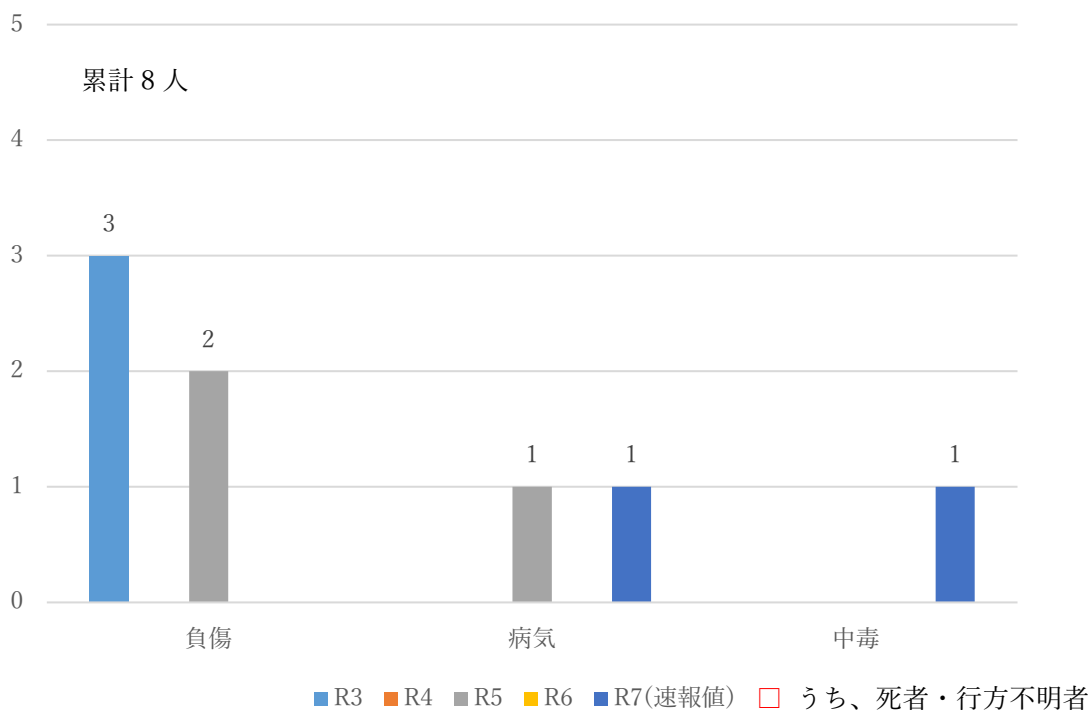
③ 工事関係船（作業船・その他）

- ✓ 事故種類別に見ると、負傷が全体の62%（5人/8人）であり、病気が25%（2人/8人）、中毒が13%（1人/8人）であった。（5年間累計）
- ✓ 発生時期は年間を通し、断続的に発生している。（5年間累計）

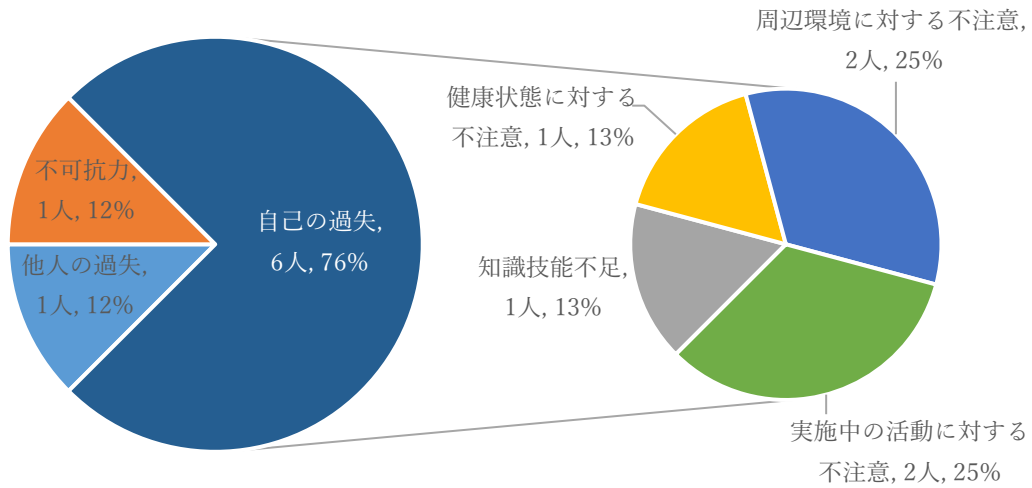
〔工事関係船による人身事故の種類別割合（5年間累計）〕



〔工事関係船乗船者の人身事故の種類と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔工事関係船乗船者の人身事故の原因別割合（5年間累計）〕



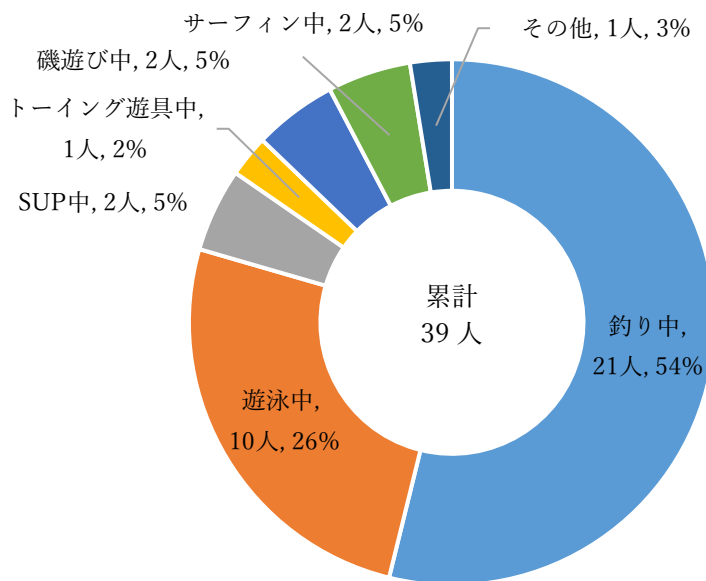
〔工事関係船による人身事故の発生時期と事故種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
負傷	1人			2人	1人			1人		1人			6人
うち、死者・行方不明者													0人
病気	1人												1人
うち、死者・行方不明者													0人
中毒							1人						1人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	2人	0人	0人	2人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	8人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計（季節）	2人		3人			2人			1人				8人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			0人			0人				0人

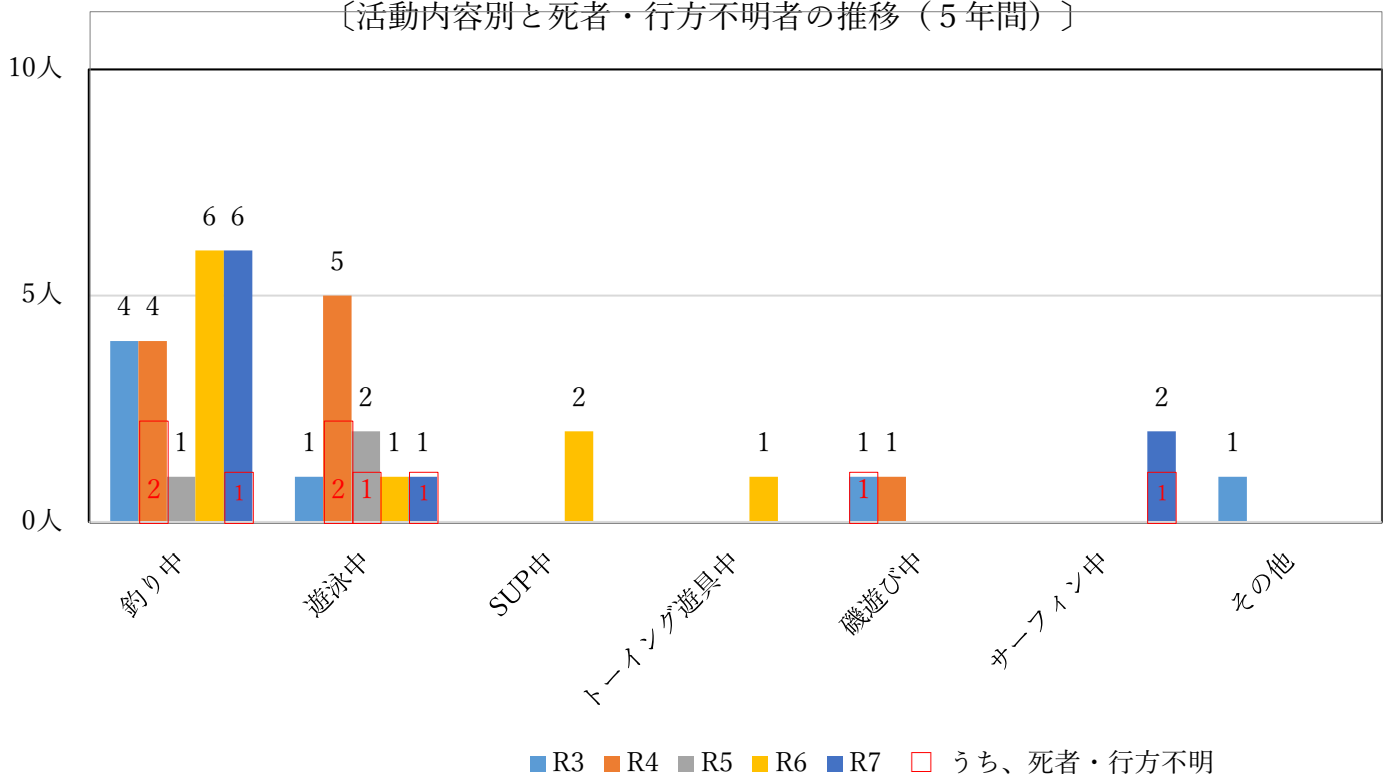
(3) マリンレジャーに伴う海浜事故

- ✓ 令和7年における釣り中の事故は、前年と変わらず6人と横ばいになった。遊泳中の事故についても、前年と同数の1人であった。
- ✓ 活動内容別に見ると、釣り中の事故が最も多く、全体の54%（21人／39人）を占め、次いで遊泳中の事故が26%（10人）と続く。（5年間累計）

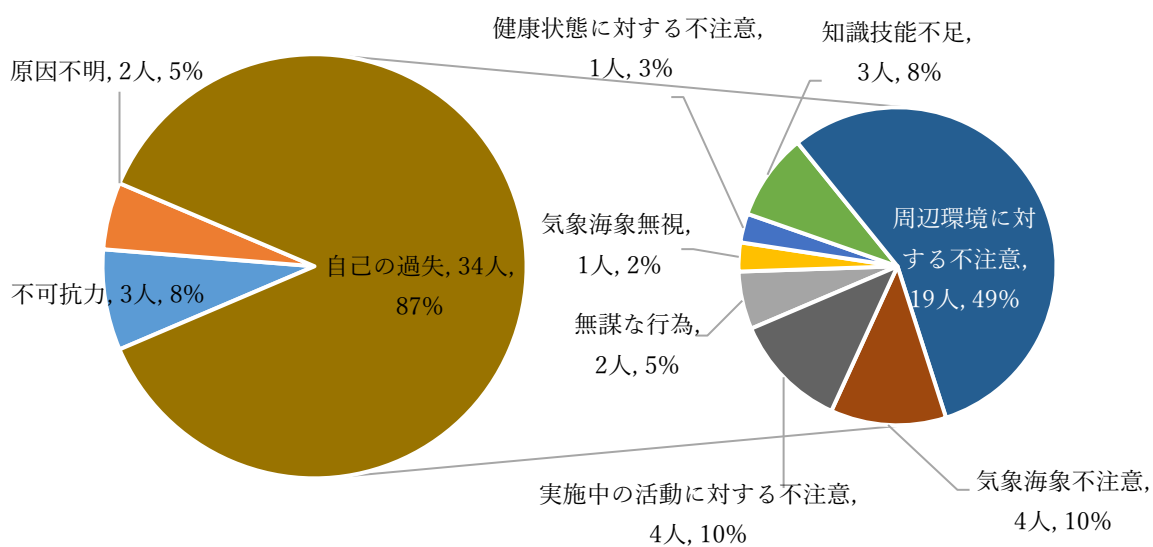
〔活動内容別の割合（5年間累計）〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



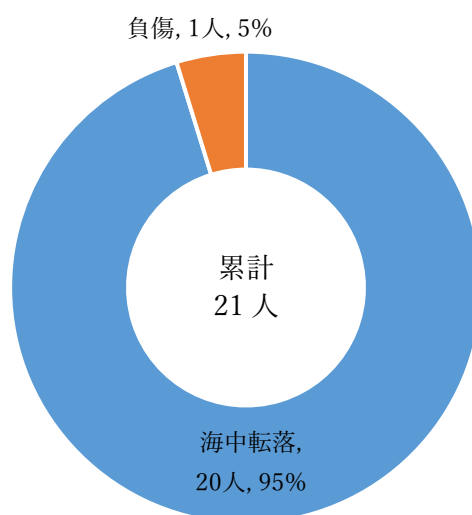
〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



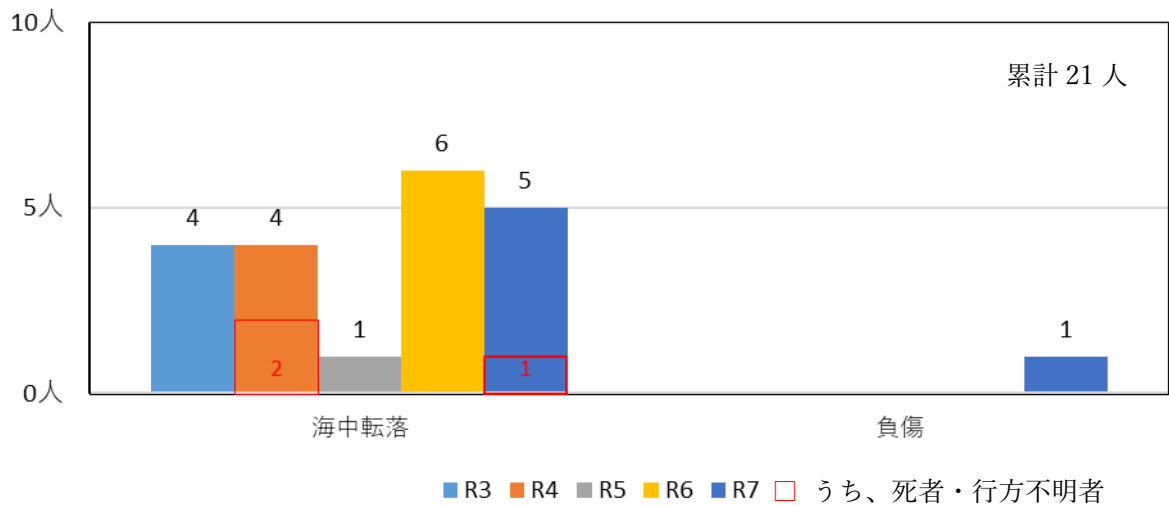
① 釣り中

- ✓ 事故種類別にみると、海中転落によるものが突出して多く全体の95%（20人／21人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 事故原因別にみると、周辺環境に対する不注意が最も多く全体の75%（12人／16人）を占め、次いで健康状態に対する不注意（1人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 年間を通じて発生しているが、秋季（9月～11月）のうち、特に11月に多く発生する傾向があったが令和7年においては減少傾向になった。（5年間累計）
- ✓ 死者・行方不明者を伴う事故は、その全てが海中転落による。（5年間累計）

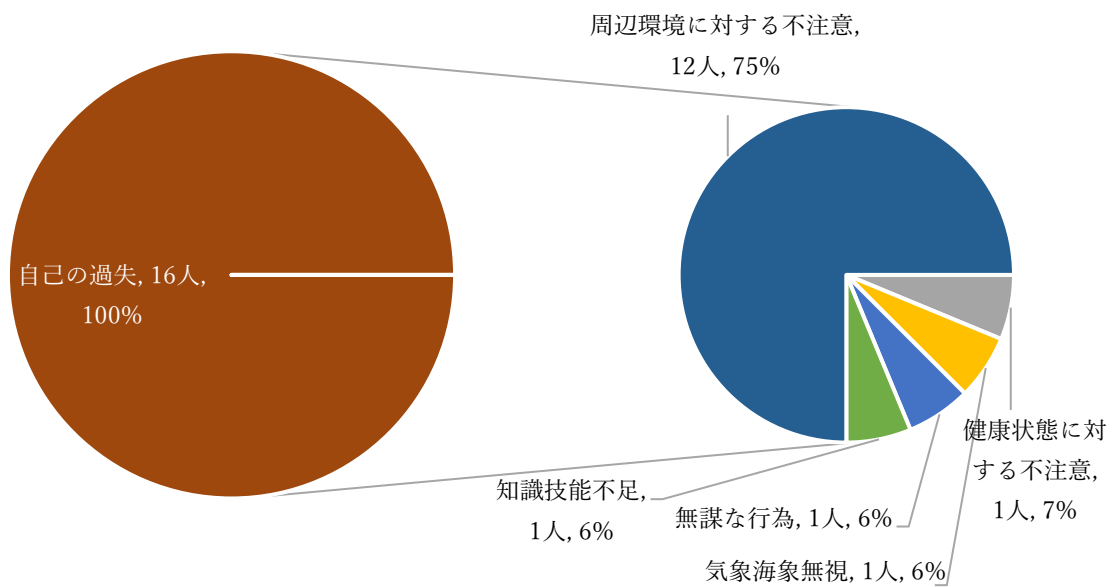
〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



〔事故種類別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



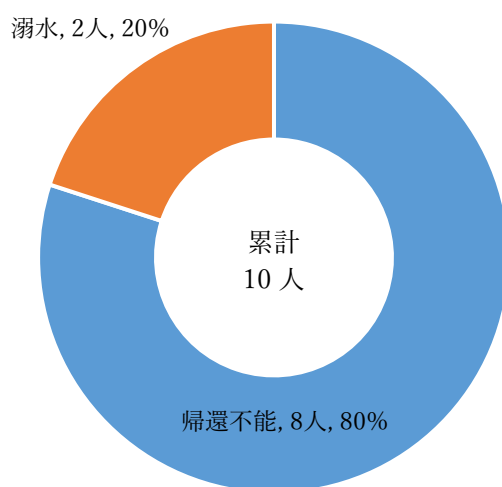
〔釣り中の人身事故の発生時期と事故種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
海中転落	1人	1人	3人	1人	1人	1人	3人	2人		2人	3人	2人	20人
うち、死者・行方不明者							1人	1人		1人			3人
負傷				1人									1人
うち、死者・行方不明者													0人
帰還不能													0人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	1人	1人	3人	2人	1人	1人	3人	2人	0人	2人	3人	2人	21人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	3人
計（季節）	4人		6人			6人			5人				21人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			2人			1人				3人

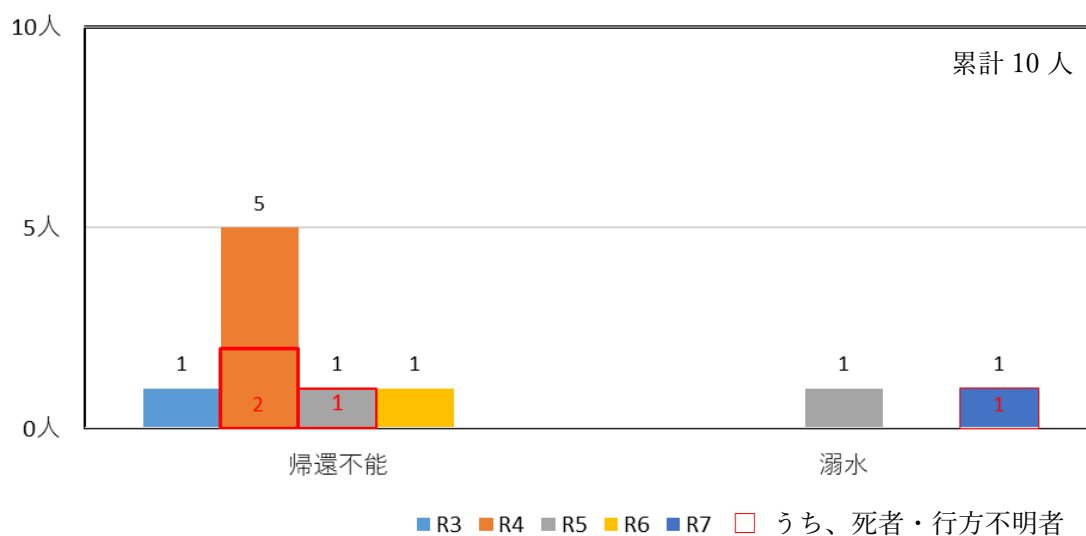
② 遊泳中

- ✓ 事故種類別にみると、帰還不能が最も多く全体の80%（8人／10人）を占め、次いで溺水が20%（2人）と続く。（5年間累計）
- ✓ 事故原因別にみると、周辺環境に対する不注意が突出して多く、全体の60%（6人／9人）を占める。（5年間累計）
- ✓ 海水浴場（遊泳可）では、令和7年に1件事故が発生している。（5年間累計）

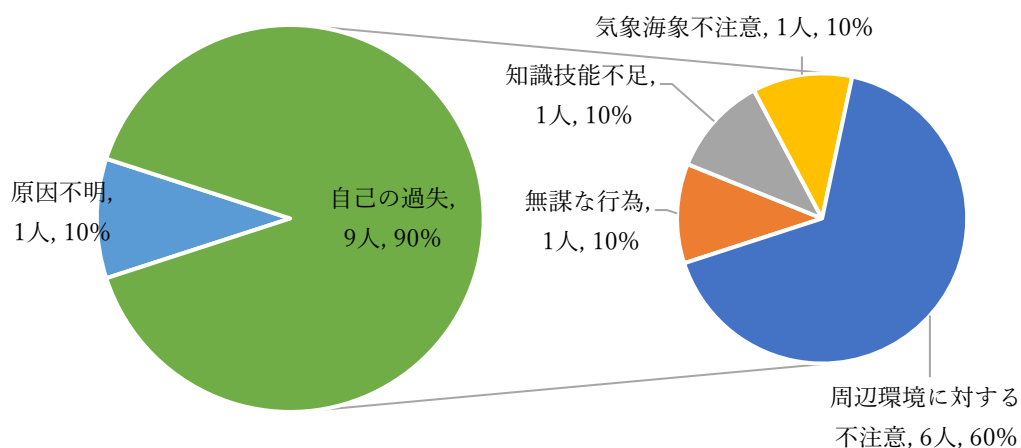
〔事故種類別の割合（5年間累計）〕



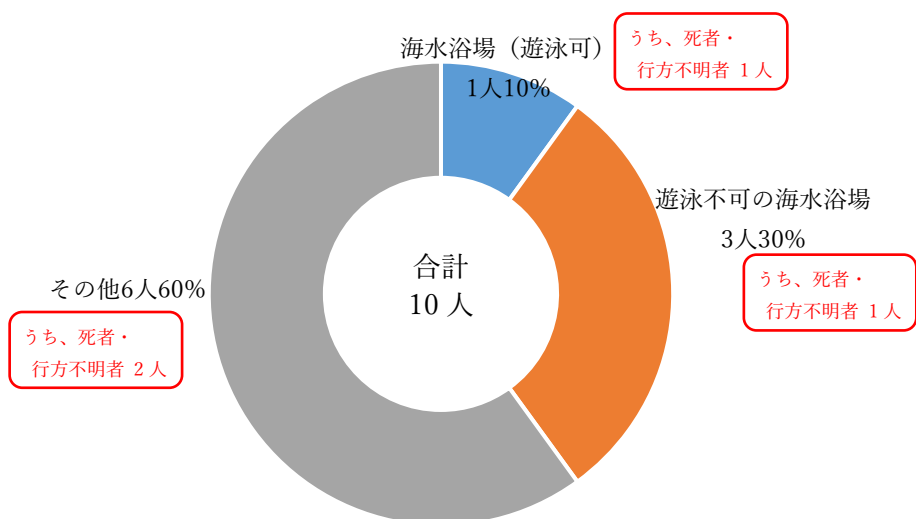
〔事故種類別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



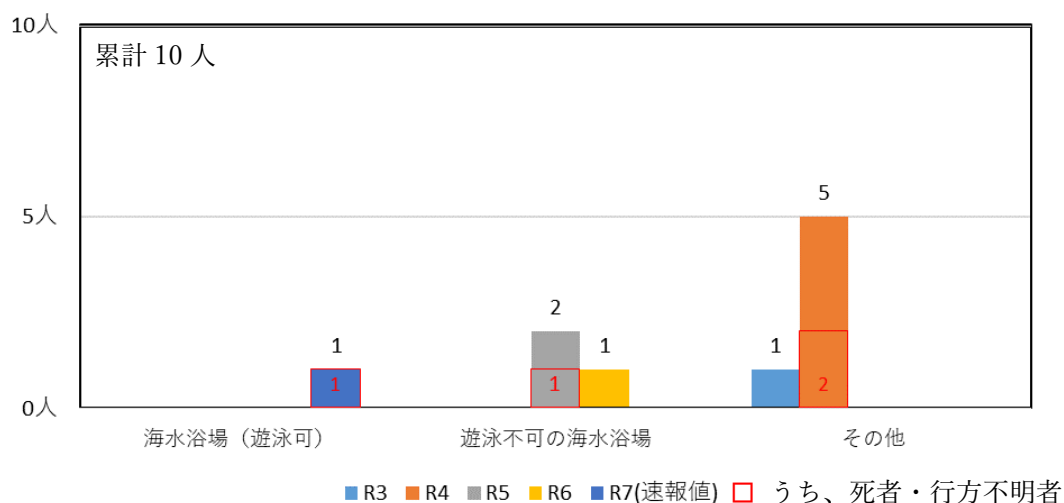
〔事故原因別の割合（5年間累計）〕



〔発生場所別の割合（5年間累計）〕



〔発生場所別と死者・行方不明者の推移（5年間累計）〕



〔発生場所別の推移（5年間累計）〕

	R3	R4	R5	R6	R7	計	割合
海水浴場（遊泳可）					1人	1人	10%
うち、死者・行方不明者					1人	1人	25%
遊泳不可の海水浴場			2人	1人		3人	30%
うち、死者・行方不明者			1人	0人		1人	25%
その他	1人	5人				6人	60%
うち、死者・行方不明者	0人	2人				2人	50%
計	1人	5人	2人	1人	1人	10人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	2人	1人	0人	1人	4人	100%

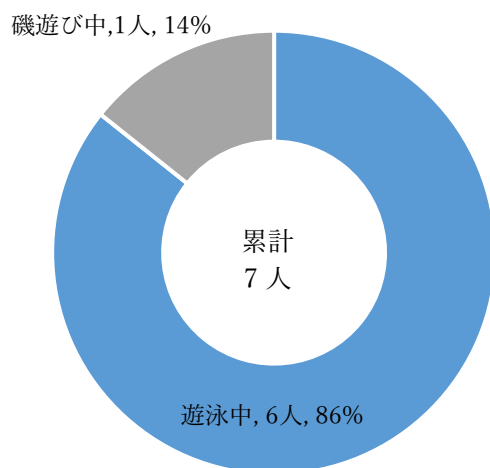
〔遊泳中の人身事故の発生時期と事故の種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
帰還不能						1人	5人	1人	1人				8人
うち、死者・行方不明者						1人	1人		1人				3人
溺水						1人		1人					2人
うち、死者・行方不明者								1人					1人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	2人	5人	2人	1人	0人	0人	0人	10人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	4人
計（季節）	0人		0人			9人			1人				10人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			3人			1人				4人

③ 18歳以下のマリネジャーに伴う海浜事故の状況

- ✓ 18歳以下のマリネジャーに伴う海浜事故については、遊泳中の発生が最も多く、全体の86%（6人/7人）を占め、次いで磯遊び中の発生がそれぞれ全体の14%（1人/7人）と続く。（5年間累計）

〔マリネジャー別の発生割合（5年間累計）〕



〔活動内容別と死者・行方不明者の推移（5年間）〕



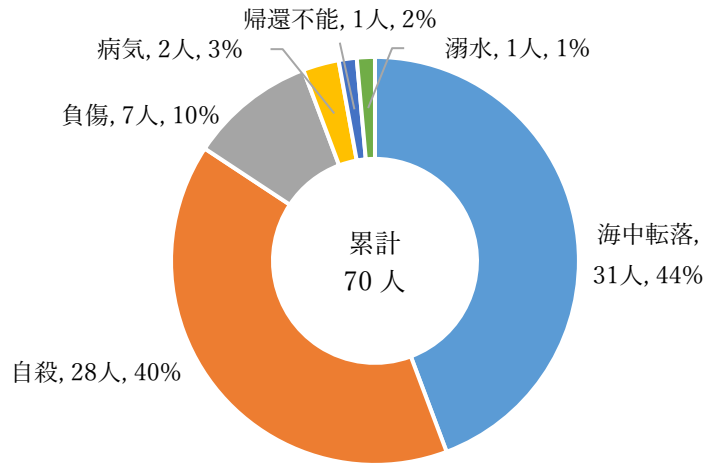
〔18歳以下のマリネジャーに伴う事故の発生時期と種類（5年間累計）〕

	冬		春			夏			秋			冬	計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
帰還不能							6人	1人					7人
うち、死者・行方不明者							1人						1人
海中転落													0人
うち、死者・行方不明者													0人
計（月）	0人	0人	0人	0人	0人	0人	6人	1人	0人	0人	0人	0人	7人
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
計（季節）	0人		0人			7人			0人			0人	7人
うち、死者・行方不明者	0人		0人			1人			0人			0人	1人

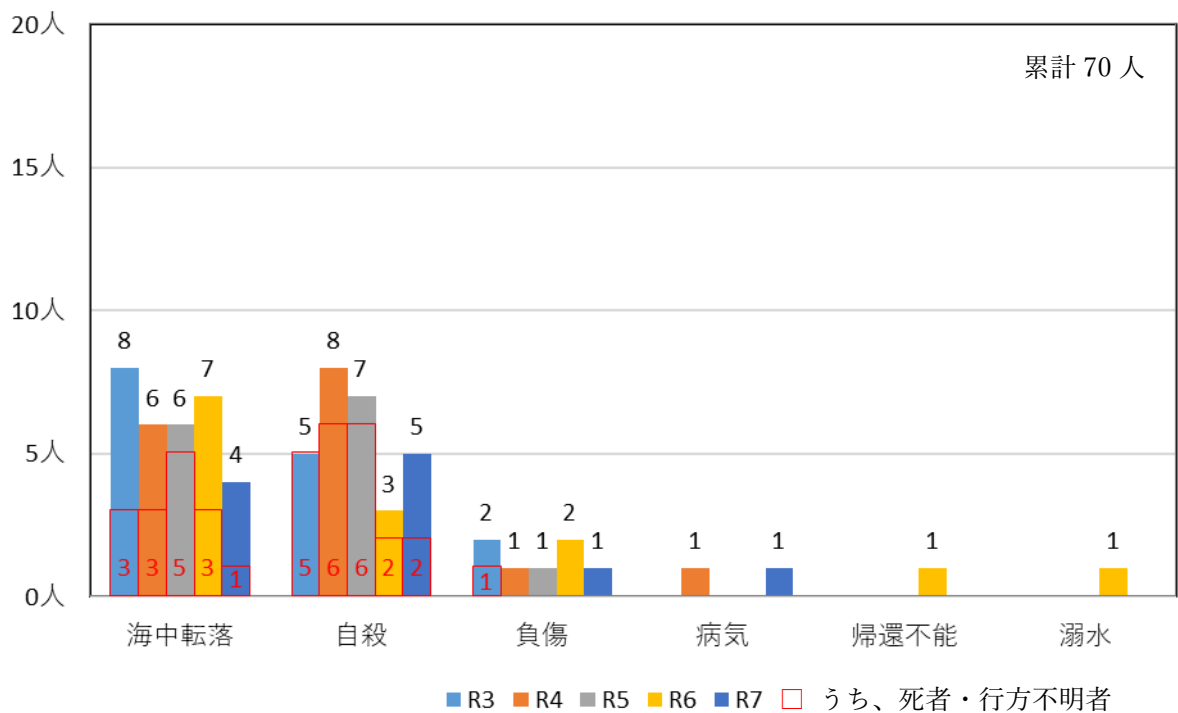
(4) マリンレジャー以外の海浜事故

- ✓ 事故種類別にみると、海中転落が最も多く、全体の44% (31人/70人) を占め、次いで自殺が40% (28人) と続く。(5年間累計)

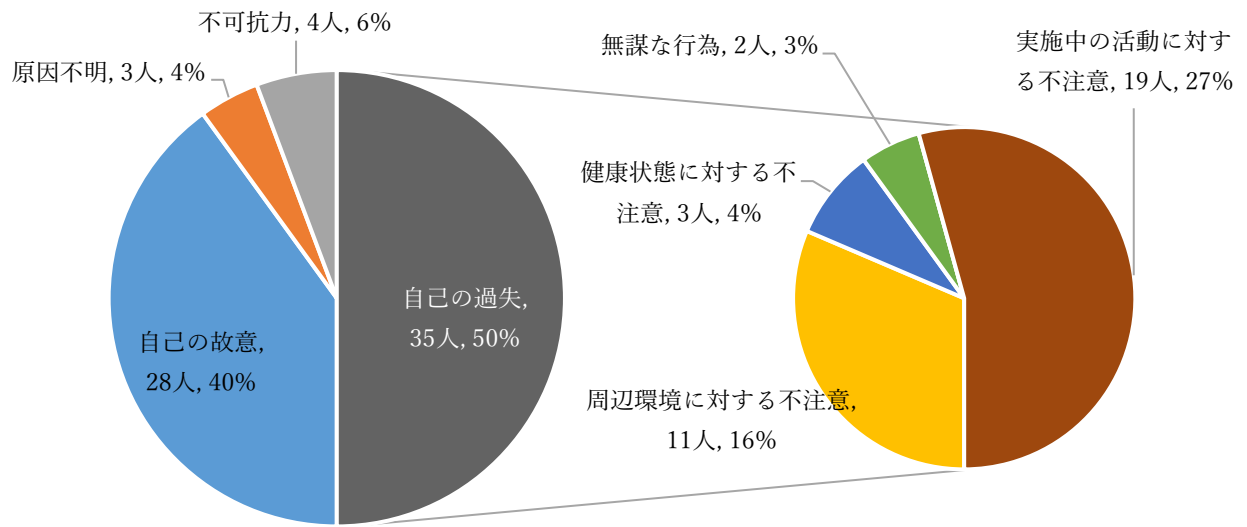
〔事故種類別の割合 (5年間累計)〕



〔事故種類別と死者・行方不明者の推移 (5年間)〕



〔事故原因別の割合（5年間累計）〕

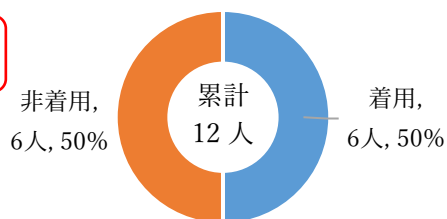


3 事故発生時における救命胴衣の着用率

(1) 漁船からの海中転落者の救命胴衣着用率

〔5年間累計〕

うち、死者・
行方不明者 3人



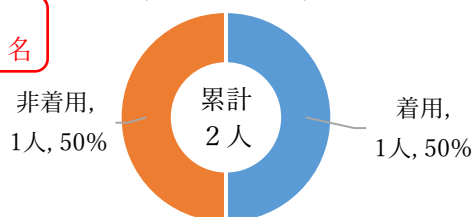
うち、死者・
行方不明者 0人

	R3	R4	R5	R6	R7	計	割合
着用	1人	2人		1人	2人	6人	50%
うち、死者・行方不明者						0人	0%
非着用	1人	2人	1人		2人	6人	50%
うち、死者・行方不明者		2人			1人	3人	100%
計	2人	4人	1人	1人	4人	12人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	2人	0人	0人	1人	3人	100%

(2) プレジャーボートからの海中転落者の救命胴衣着用率

〔5年間累計〕

うち、死者・
行方不明者 1名



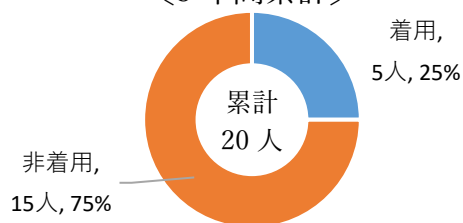
うち、死者・
行方不明者 1名

	R3	R4	R5	R6	R7	計	割合
着用					1人	1人	50%
うち、死者・行方不明者					1人	1人	-
非着用					1人	1人	50%
うち、死者・行方不明者					1人	1人	-
計	0人	0人	0人	0人	2人	2人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	0人	0人	0人	2人	2人	-

(3) 釣り中の海中転落者の救命胴衣着用率

〔5年間累計〕

うち、死者・
行方不明者 1人



うち、死者・
行方不明者 2人

9	R3	R4	R5	R6	R7	計	割合
着用	1人	3人			1人	5人	25%
うち、死者・行方不明者		2人				2人	67%
非着用	3人	1人	1人	6人	4人	15人	75%
うち、死者・行方不明者					1人	1人	33%
計	4人	4人	1人	6人	5人	20人	100%
うち、死者・行方不明者	0人	2人	0人	0人	1人	3人	100%